

資料 8

小児神経科医の発達障害に関する診療状況

調査法： 日本小児神経学会評議員に対して、 発達障害診療の現状を、調査した。

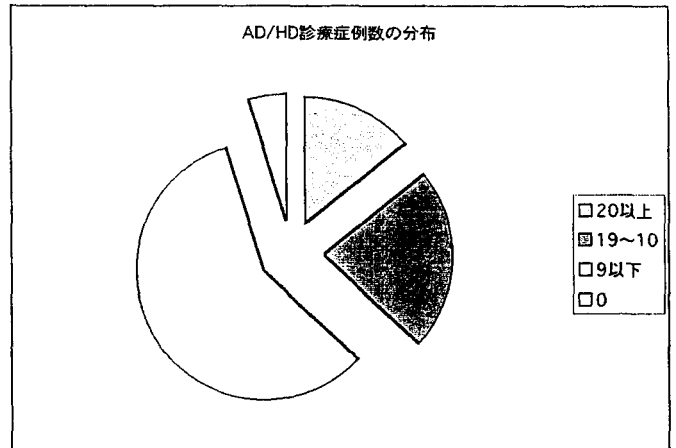
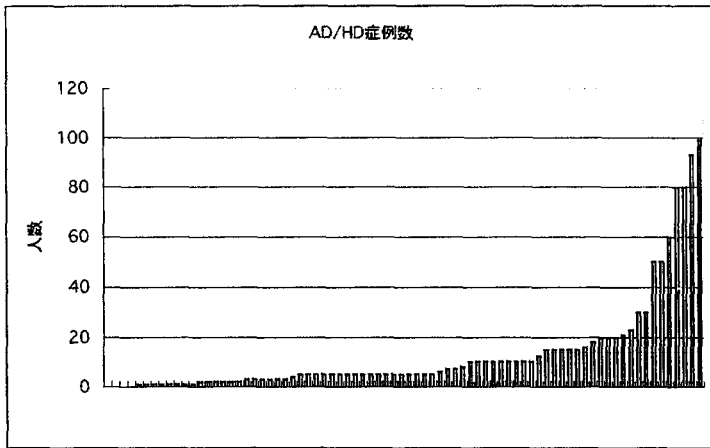
調査対象 203 名中、 86 名回答 (42.4 %)

平成 17 年 3 月施行

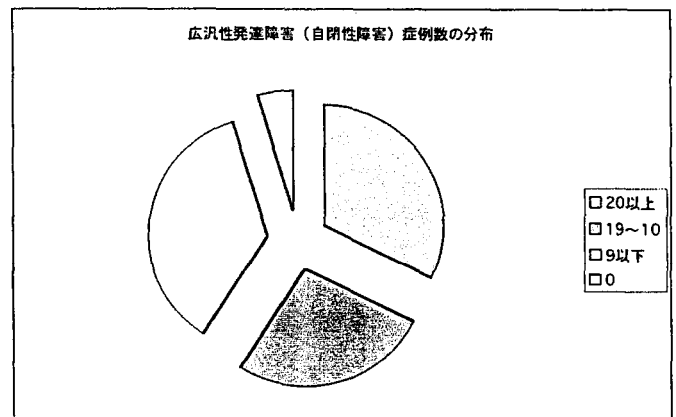
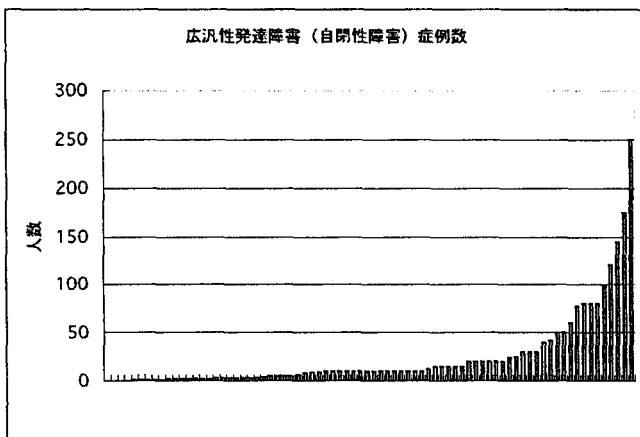
調査項目

- それぞれの発達障害、心の診療の 週に診療する概数
従って、週 1 回の診察日の医師と、週 5 日の診察日の医師数値が混在している。
評議員は、管理職が多いために、週診察回数は、一般会員がより多いと推定される。
- 小児神経外来において関連処方
抗てんかん薬などその他の神経薬剤は、記していない。
- コメディカルスタッフの状況；療育関連
- 学校、保育園・幼稚園などとの連携状況

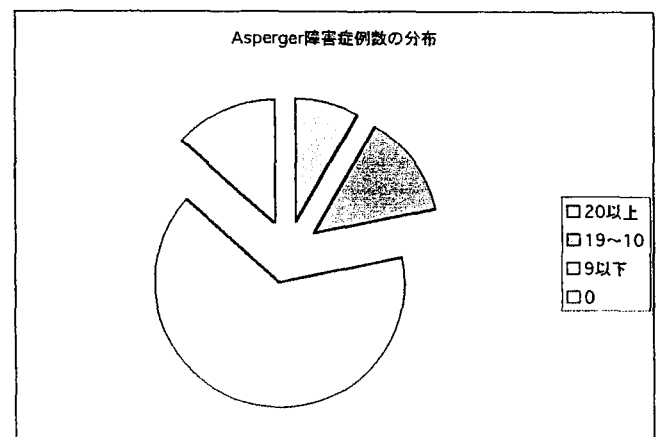
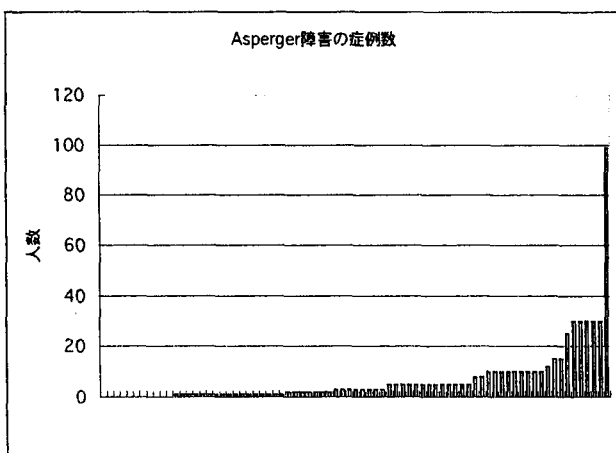
結果： 評議員という集団に対する調査であるために、上記のように、管理職が多く、 週の診療例数は、診療日数との関係で解析する必要があるが、実態の一端を示した。 一般小児科外来も平行して診療している者は、小児神経外来だけの実態を記した。 不登校、心因反応、などは、並列する小児科外来での診察は、省かれている。



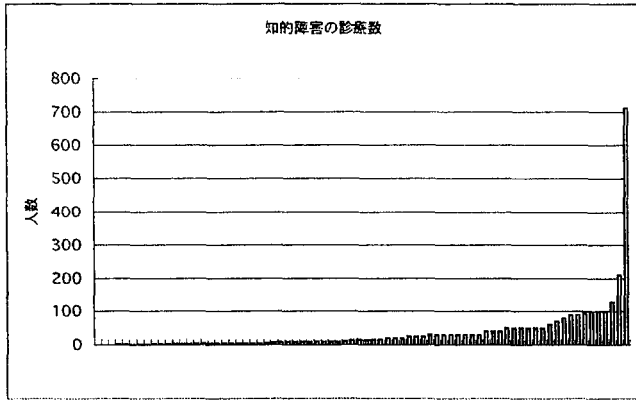
AD/HD の診療症例は0 - 99人で上記のような分布であった。



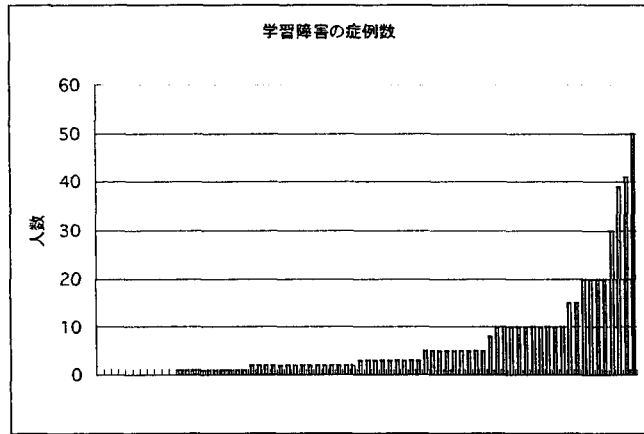
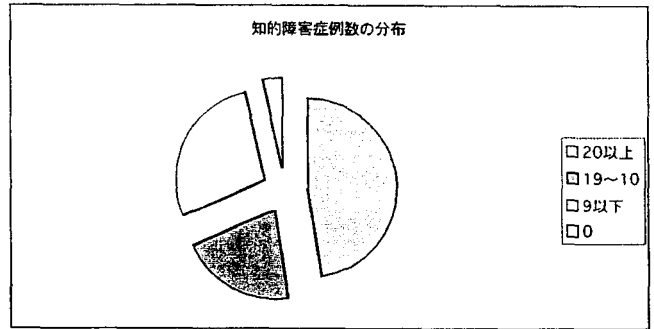
広汎性発達障害の診療症例は0 - 250人で上記のような分布であった。



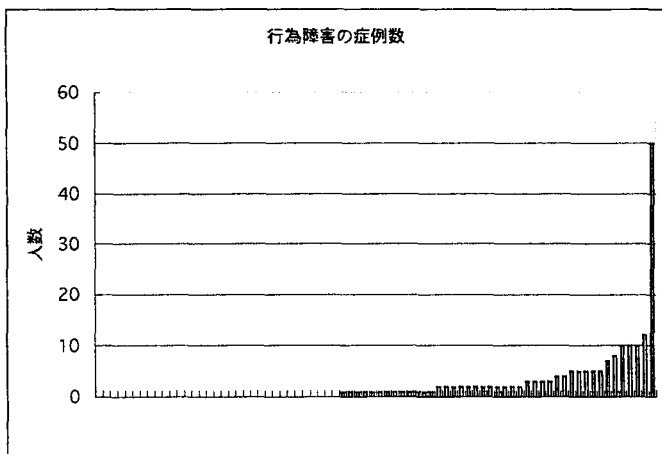
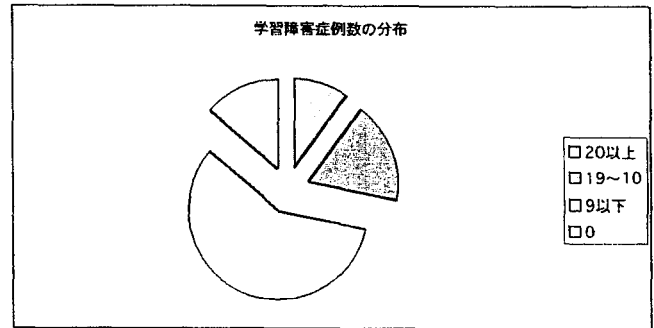
Asperger 障害の診療症例は0 - 99人で上記のような分布であった。



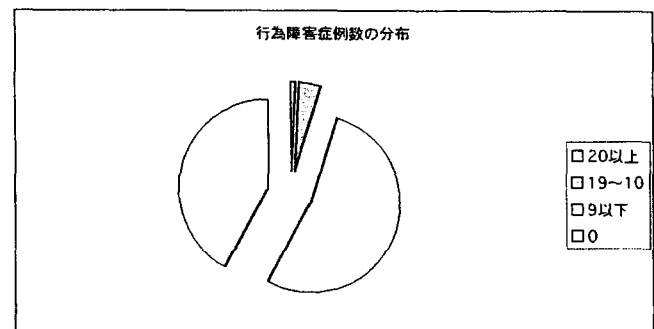
知的障害の診療症例は0 - 711 人で上記のような分布であった。

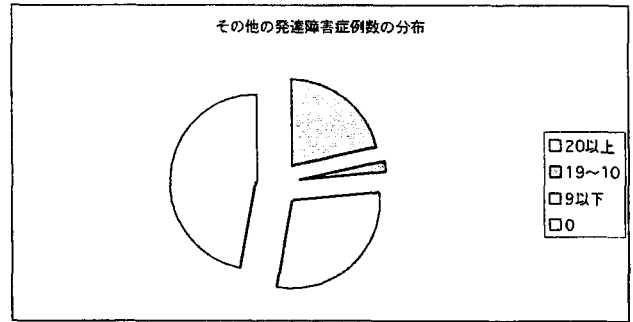
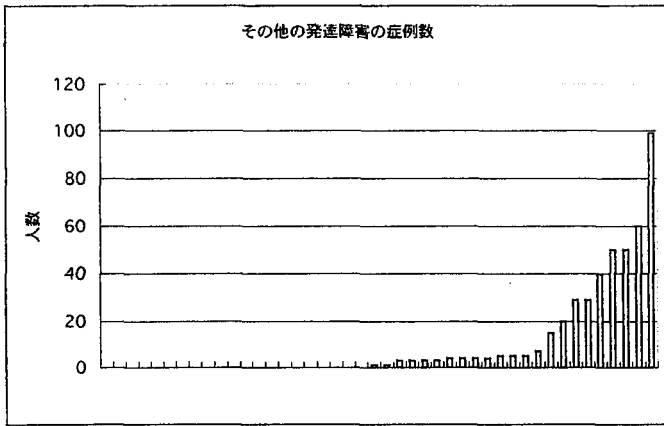


学習障害の診療症例は0 - 50 人で上記のような分布であった。

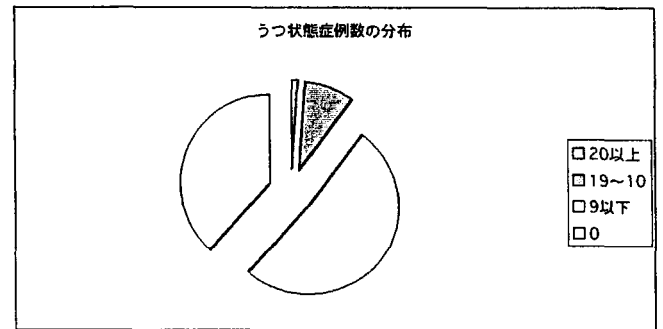
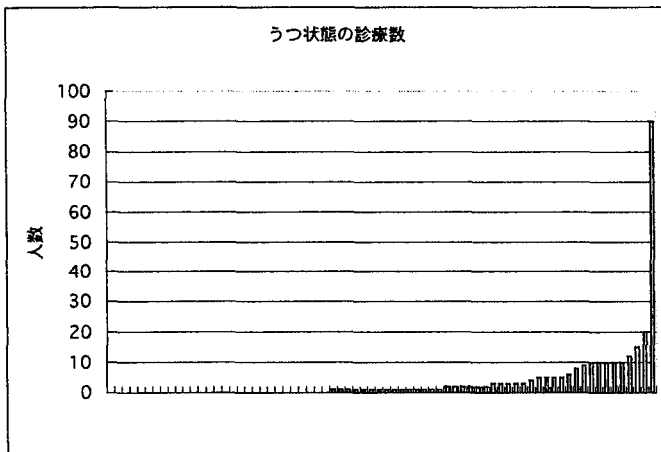


行為障害の診療症例は0 - 50 人で上記のような分布であった。

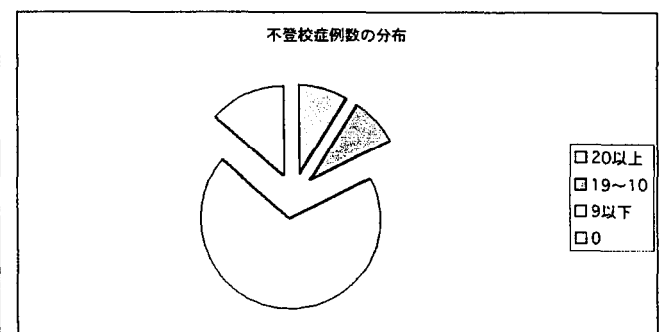
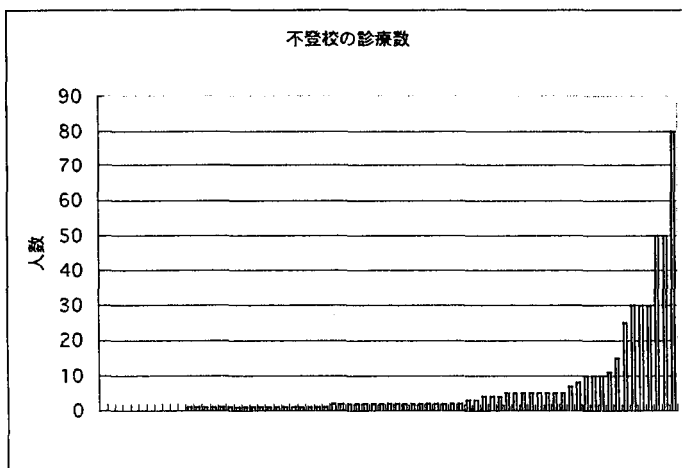




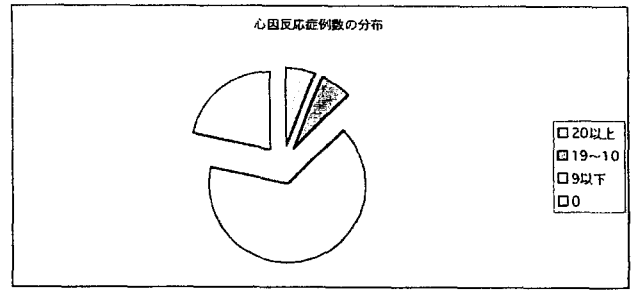
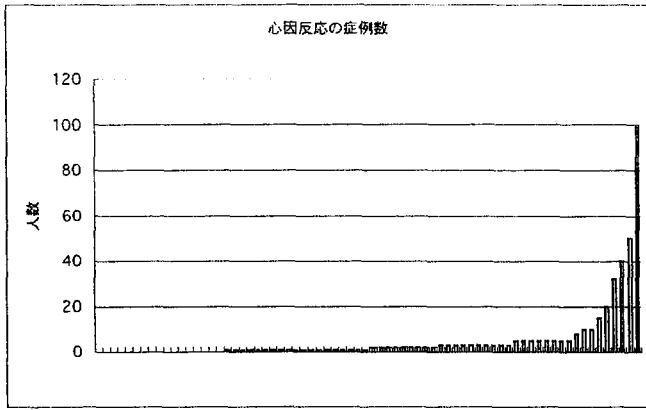
その他の発達障害の診療症例は0 - 99 人で上記のような分布であった。



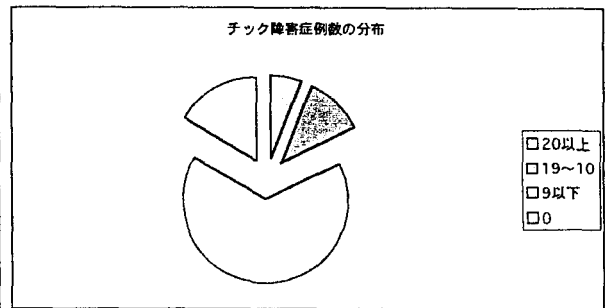
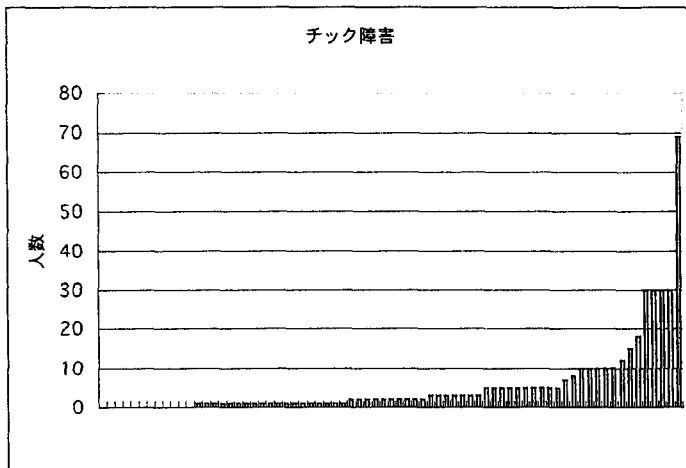
うつ状態の診療症例は0 - 99 人で上記のような分布であった。



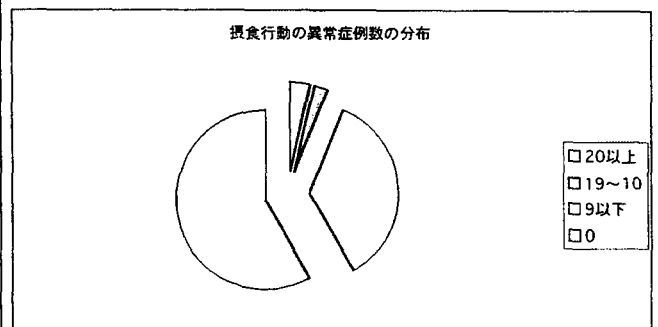
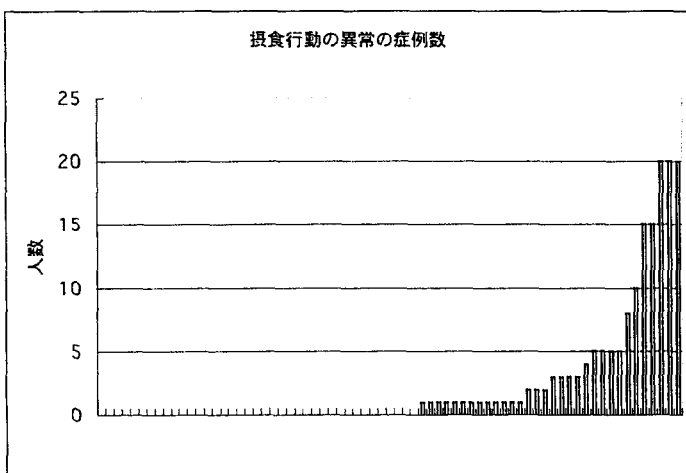
不登校の診療症例は0 - 80 人で上記のよう。



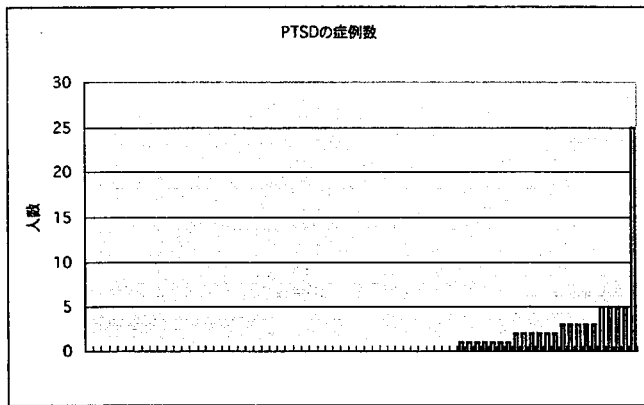
心因反応の診療症例は0-99人で上記のような分布であった。



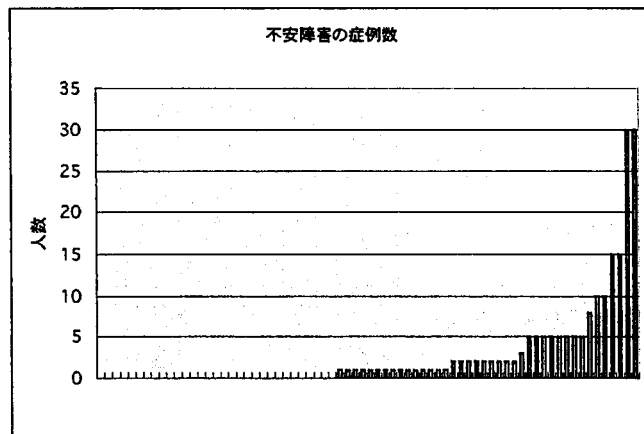
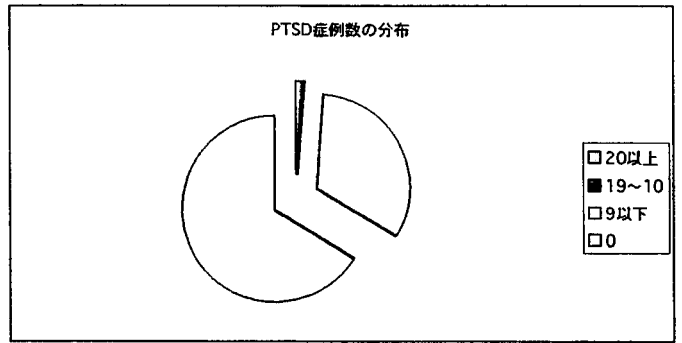
チック障害の診療症例は0-69人で上記のような分布であった。



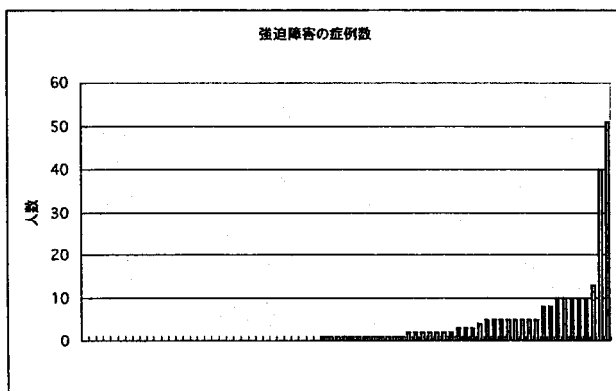
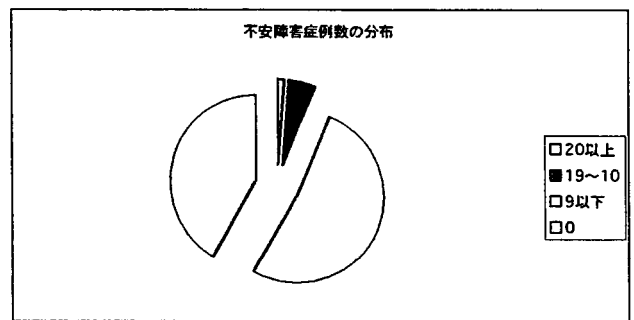
摂食行動の異常の診療症例は0-20人で上記のような分布であった。



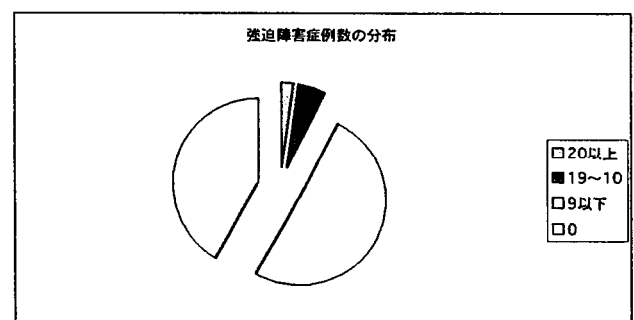
PTSD の診療症例は0 - 25 人で上記のような分布であった。



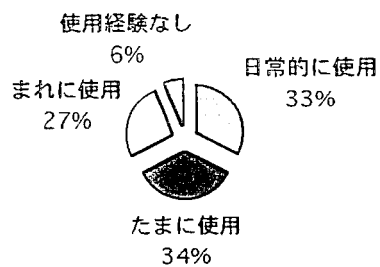
不安障害の診療症例は0 - 30 人で上記のような分布であった。



強迫障害の診療症例は0 - 51 人で上記のような分布であった。

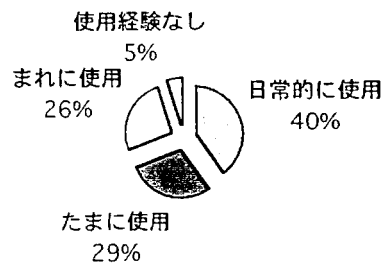


処方経験：抗精神病薬



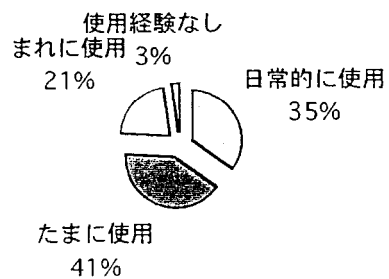
抗精神病薬処方

処方経験：抗うつ薬



抗うつ薬処方

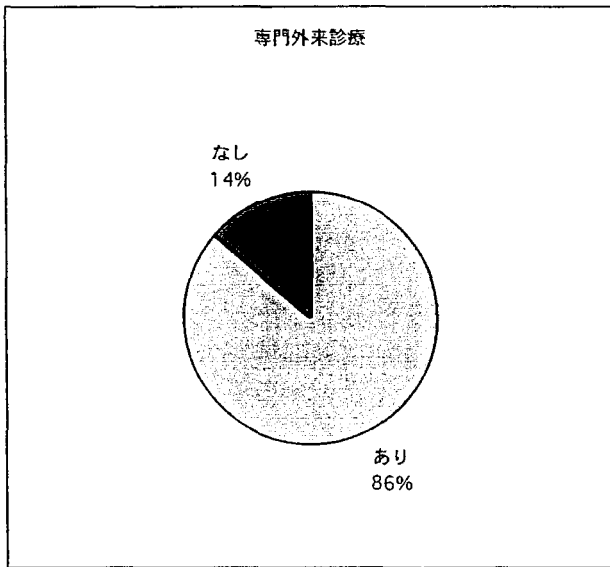
処方経験：抗不安薬



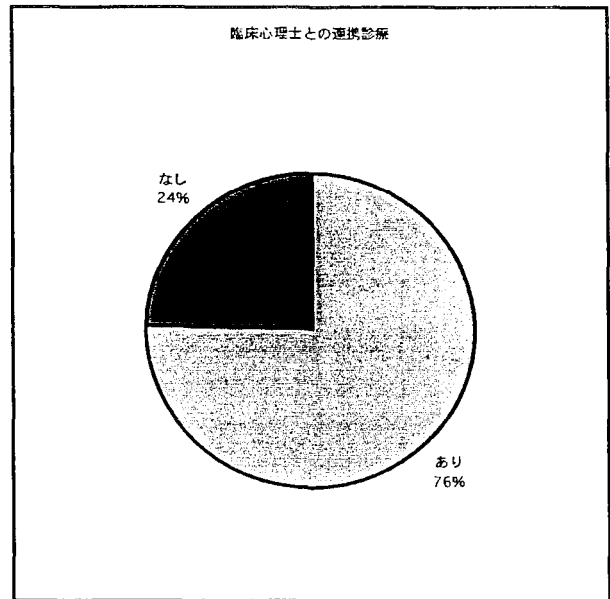
抗不安薬

発達障害（を含む子どもの心の診療）治療体制

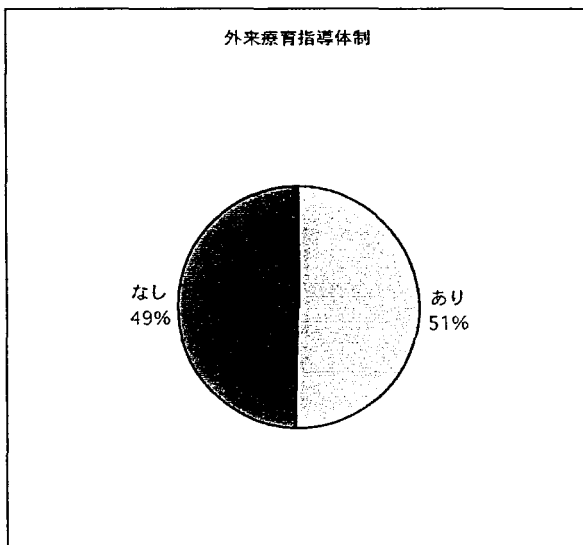
専門外来



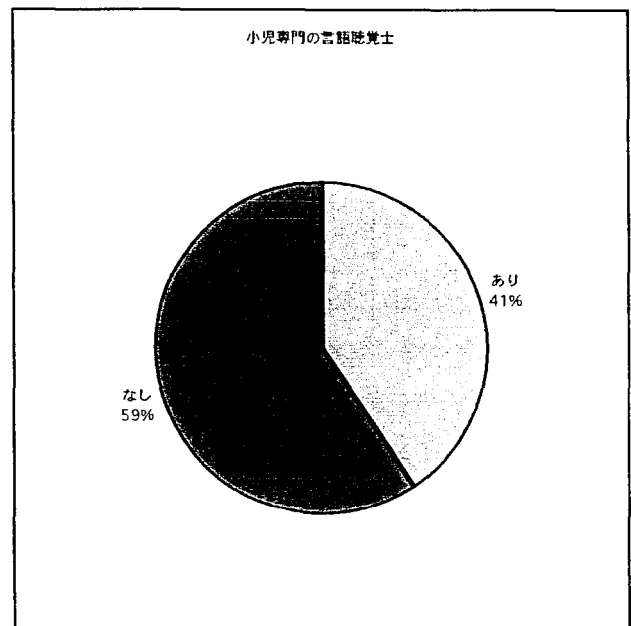
臨床心理士との連携診療体制



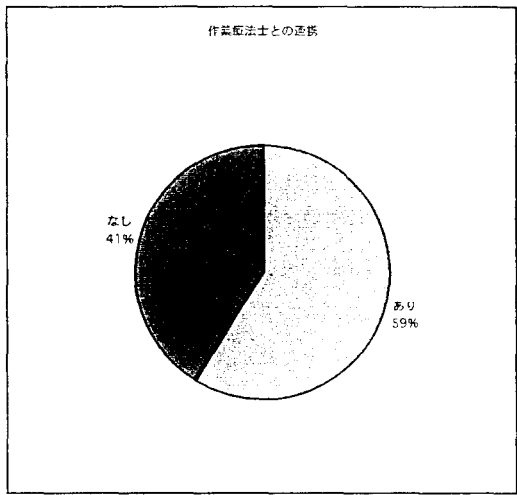
外来における療育体制



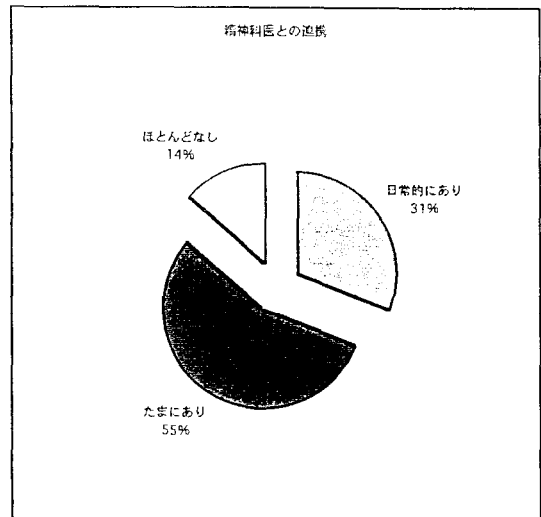
小児専門の言語聴覚士の存在



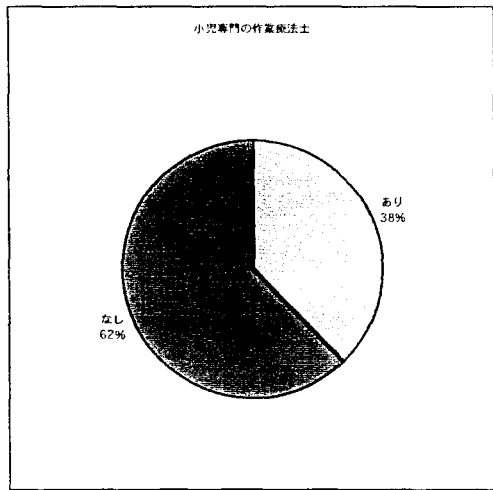
作業療法士との連携体制



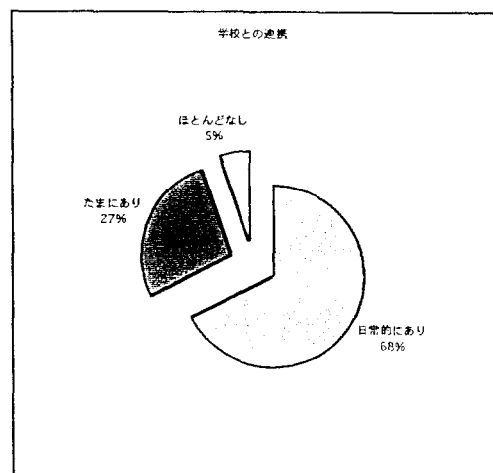
精神科医との連携体制



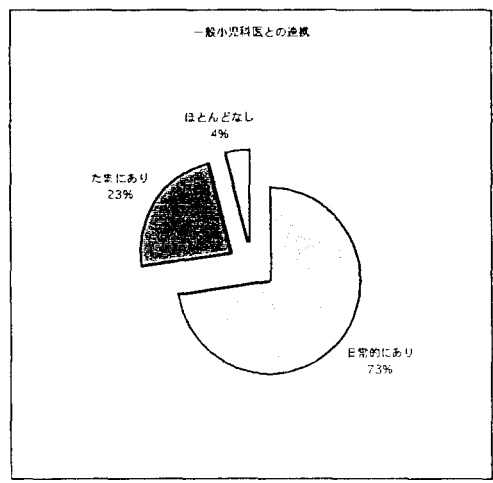
小児専門の作業療法士の存在



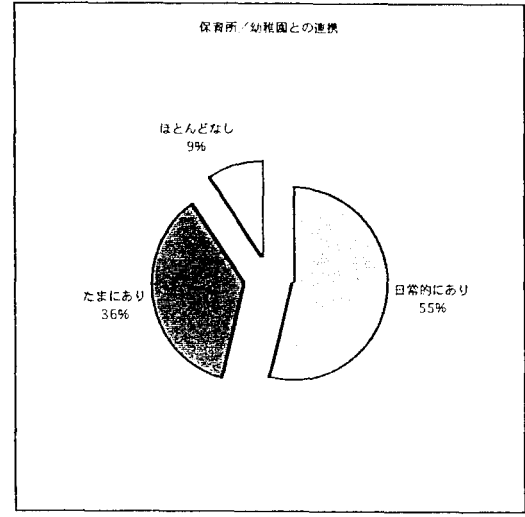
学校との連携



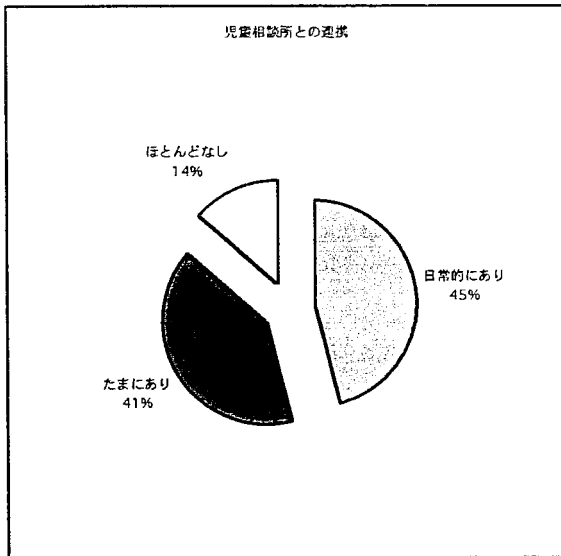
一般小児科との連携体制



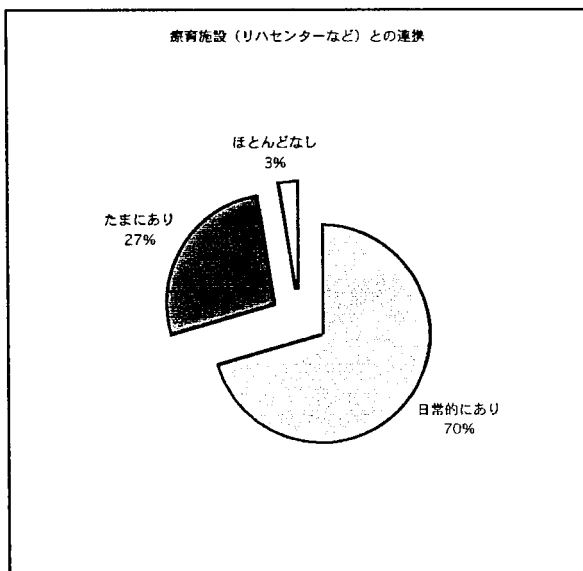
保育所・幼稚園との連携



児童相談所との連携



療育施設（リハセンターなど）との連携



日本小児神経学会学会誌「脳と発達」における最近5年間の「子どもの心、精神、発達障害、精神薬理、等に関する原著論文、シンポジウム等の論文題名の抜粋

年巻号	題名
2000.vol32 (3)	子どもから家族や家庭に視点を転換した社会施策の必要性 Baclofenが奏効した難治性吃逆の1例
2000.vol32 (4)	学習障害(LD)児および周辺児・者の家族が求める医療, 教育, 福祉的援助
2000.vol32 (5)	不安定な生育環境が発作再発の誘因となった補足運動野てんかんの幼児例
2001.vol33 (1)	極低出生体重児に対する早期介入の発達効果の検討
2001.vol33 (2)	わが国における注意欠陥多動性障害診療におけるmethylphenidate投与の問題点
2001.vol33 (3)	自閉症の病像理解と治療
2001.vol33 (4)	自閉性障害児におけるfluvoxamine(選択的セロトニン再取り込み阻害剤)の臨床効果 多動性障害および多動性を有する広汎性発達障害141例に対するmethylphenidateによる治療経験 自閉症脳のin vivo ¹ H-MRSによる検討 「すぐに忘れてしまう」ことを主訴とした小児の1例
2002.vol34 (1)	Rett症候群の早期遺伝子診断例の臨床経過
2002.vol34 (2)	機能的MRIの臨床応用の展望 ADHDを取りまく医療のあり方について
2002.vol34 (3)	Rett症候群変異のMeCP2機能への影響 注意欠陥多動性障害, 自閉性障害における尿中β-phenylethylamineの検討 自閉症児の自傷行為・攻撃行動に対するfluvoxamine投与の試み Pickwick症候群を呈したAsperger症候群の13歳女児例
2002.vol34 (4)	漢字および図形に対する認知機能評価
2002.vol34 (5)	前頭葉と前頭前野の成長に関する研究 前頭葉および前頭前野の成長に関する研究 自閉性障害および注意欠陥/多動性障害における前頭葉機能の側性化(lateralization)に関する研究
2002.vol34 (6)	漢字および図形に対する認知機能評価
2003.vol35 (1)	小児自閉性障害におけるfluvoxamine投与時の臨床効果とセロトニン2A受容体遺伝子多型との関連について
2003.vol35 (2)	注意欠陥/多動性障害(AD/HD)とmethylphenidate パソコンを用いた注意欠陥/多動性障害(AD/HD)診断用テスト「もぐら一ず」の使用経験
2003.vol35 (3)	小児自閉性障害におけるfluvoxamine投与時の副作用発現に関する検討

2003.vol35 (4)	恐怖発作を示した幼児例
2003.vol35 (5)	不定愁訴を有する不登校児の抱える「不安感」-State-Trait Anxiety Inventoryによる心理学的評価およびSSRIの有効性-
2003.vol35 (6)	先覚者
	広汎性発達障害児に対するrisperidone投与の試み
2003.vol35 suppl-1	視覚機能の発達-神経生理学の立場から
	行動異常とSSRI 薬理学的立場から
	行動異常とSSRI-適応外使用とてんかん-
	行動異常に対する児童精神科の立場
	0005 Go/NoGo課題を用いた運動抑制機能の発達的特徴
	0006 小児における視線の認知-磁場計測を用いた解析
	0031 ノイズ発生型CPT(持続処理課題)の有用性について
	0032 発達性読み書き障害児における仮名訓練
	0033 非言語性 LD 児の情緒相互性における神経心理学的検討
	0034 注意欠陥/多動性障害児の認知機能に関する神経心理学的検討-WISC、WCST、mCBTを用いて-
	0035 ビデオ式3次元動作解析システムを用いての発達研究その5:Collis水平反応の発達変化と誘発手技の検定
	0036 ふり・冗談・説得の理解における発達と性差-紙芝居形式による「心の理論」高次テストの作成-
	0037 発達性読み書き障害児4例における方法別訓練効果の検討
	0038 公立中学生87名における英語の読み書き能力と認知能力との関連-発達性読み書き障害の観点から-
	0039 児童期における注意能力の発達と男女差の検討-注意持続処理課題(CPT)の集団検査の結果から-
	0040 幼若ラットの青斑核ニューロンに対するメチルフェニデートの作用
	0041 メチルフェニデートによる線条体ドーパミン/DARPP-32 情報伝達系の調節:幼若マウスと成熟マウスとの比較
	0042 テオフィリンによる発育期マウスの記憶,学習能力障害
	0043 小児神経疾患における髄液中ハイポクレチン(オレキシン)濃度測定の意義
	0044 遺伝性難聴マウスbvの回転性行動異常の病態と治療に関する検討
	0045 自閉症モデルラットにおける記憶・学習障害の検討
	0096 アスペルガー症候群と注意欠陥多動性障害のグループ外来における評価
	0097 高機能広汎性発達障害の臨床的検討
	0098 自閉性障害と周生期因子について:正常発達児との比較検討

- 0099 3-D MR画像を用いた自閉症児における前頭葉体積の測定
- 0100 自閉症の認知障害:Biological Motionの認知について
- 0101 小児におけるセロトニン再取り込み阻害剤(SSRI)の有効性
- 0102 Gilles de la Tourette syndrome(GTS)の治療-少量l-dopa療法と生活指導の効果について-
- 0103 自閉症の行動障害に対する塩酸パロキセチンの効果の検討
- 0104 スマトリプタンの投与で周期性嘔吐症が改善した高機能自閉症の1例
- 0110 ことばの弁別課題におけるERPとf-MRIの相似
- 0117 Rett症候群におけるMECP2変異誘発遺伝子の検索
- 0118 Rett症候群一卵性姉妹に認められた顕著な重症度の差異
- 0119 非典型的な臨床症状を呈しMeCP2遺伝子に変異を認めたRett症候群の2例
- 0120 Rett症候群3例におけるMethyl-CpG-binding protein 2(MECP2)遺伝子変異の検討
- 0151 AD/HD児の時間把握能力の検討:10秒間テストの有用性
- 0152 注意欠陥多動性障害/チック障害児の体性感覚誘発電位
- 0153 ADHDのWISCと安静時脳血流に関する検討
- 0154 ADHDにおける遂行機能とワーキングメモリの発達の検討
- 0155 多動・衝動性・痙攣を持つ児に対する音楽療法
- 1012 オープン試験による自閉症に対するビタミンB12有効性の検討
- 1015 軽度発達障害におけるSSRIの使用経験-特にMethylphenidate(MPD)との併用における臨床的検討-
- 1017 注意欠陥多動性障害の前頭葉眼窩回機能に関する神経心理学的検討
- 1018 注意欠陥/多動性障害児における衝動性眼球運動に関する検討
- 1019 ADHD群とHFPDD群における比喩・皮肉文理解の違いについて(第2報)
- 1020 ADHD Rating scale、Childhood Asperger Syndrome Testの軽度発達障害に対する有用性と問題点
- 1021 通常学級に在籍するADHD症状をもつ学童の実態調査
- 1022 超低出生体重児にみられた学習障害(書字障害、計算障害)
- 1023 広汎性発達障害児における尿中17-hydroxycorticosteroidsおよび17-ketosteroid sulfatesの検討
- 1024 セクレチン受容体の中樞神経系における発現と自閉性障害への関与の解析
- 1025 自閉症児における第2指、第4指長比に関する検討
- 1026 自閉性障害者における脆弱X症候群A,Eのスクリーニング

- 1027 高機能広汎性発達障害児のWISC-III知能検査プロフィールの検討
- 1028 自閉症家庭療育(HACプログラム)による自閉症幼児の発達経過-「いないいないばー」遊びは言語を予測する?
- 1029 学童期に診断された広汎性発達障害の現状と乳幼児期の行動の検討
- 1030 精神遅滞を伴う自閉症患者の問題行動への対応
- 1031 The strengths and Difficultie sQuestionnairesによるADHDと自閉症の社会行動特徴
- 1079 情動的視覚刺激によるSSRの発達の検討-発達障害児への適用に向けて-
- 2030 発達障害児のテレビ、ビデオ視聴について
- 2031 乳児期の長時間ビデオ・テレビ視聴が発達に及ぼす影響
- 2032 構音障害を主訴に現れる就学前の発達障害の検討(第一報)
- 2123 軽度発達遅滞児で先天性サイトメガロウイルス感染症と診断した1例
- 2004.vol36 (1) 注意欠陥/多動性障害児における記憶機能-methylphenidateによる記憶機能改善の検討-併存障害のある注意欠陥/多動性障害児における交感神経皮膚反応の検討
- 2004.vol36 (2) 行動異常と選択的セロトニン再取り込み阻害剤
- 2004.vol36 (3) 19. Asperger障害にTourette障害を合併した男児例
教育との連携を求めて
- 2004.vol36 (4) 発達障害児に対する医療・福祉資源の活用と連携の現状-第1報 専門医師と施設・他職種間の連携について-
小児の在宅医療におけるこころの問題に関するアンケート調査
- 2004.vol36 (5) 漢字および図形に対する認知機能評価 第3報 注意欠陥/多動性障害児の視覚性単一波形P300の特徴
発達障害児に対する医療・福祉資源の活用と連携の現状-第2報社会的支援サービスの利用状況について-
自閉症における水銀・チメロサールの関与に関する声明
- 2004.vol36 (6) 9.AD/HD疑いで紹介され、不登校となったAsperger症候群男児
注意欠陥/多動性障害の衝動性に関する検討
脳血流99mTC-ECD SPECT定量検査を用いた発達障害児における脳血流分布の検討
- 2004.vol36 suppl-1 Services for Autistic Spectrum Disorders in Hong Kong
APPROACH TO PERVASIVE DEVELOPMENTAL DISORDERS (PDD): CURRENT STATUS IN TURKEY.
発達障害の診方
自閉症の早期診断, 早期介入
注意欠陥/多動性障害(AD/HD)と学習障害(LD)の早期発見について

発達障害児の睡眠障害

行為障害

Asperger syndrome: is there biological basis for this syndrome?

O-039 自閉症脳の内in vivo 1H-MRSによる検討-扁桃核および前頭前野腹内側部について-

O-040 高機能自閉症における脳technetium-99m-ECD SPECT所見-3DSRTを用いて-

O-041 高機能自閉症における脳99mTc-ECD SPECT所見-3DSRTを用いて-

O-043 機能的近赤外線分光鏡スコープ: 乳児の脳と心の発達に対する脳科学的アプローチ

O-055 自閉症に関連する可能性のあるHox遺伝子変異の発現解析

O-056 自閉性障害者におけるFMR2遺伝子異常の検索

O-064 軽度発達障害に関する臨床的研究(第一報) 高機能広汎性発達障害202例の臨床的検討

O-067 注意欠陥/多動性障害患者にみとめられた広汎性発達障害的症状

O-069 教育技術を医療側から考える: 百マス計算とADHD/LD

O-070 Cambridge Neuropsychological test Automated Battery(CANTAB)の臨床応用注意欠陥多動性障害の高次脳機能障害の評価

O-071 注意欠陥・多動性障害児におけるサッケード課題の有用性に関する検討

O-072 歪成分耳音響反射(DPOAE)による発達障害児の聴覚評価の検討

O-073 小児領域に応用可能な前頭葉機能スクリーニング検査の作成についての検討

O-074 当クリニックにて長期間観察されている自閉症105例の臨床症状と予後についての検討 第1報

O-077 家庭における自閉症児に対する早期介入応用行動分析の効果

O-078 後方視的にみた高機能広汎性発達障害児の乳幼児期の行動異常: 重症度と関連性はあるのか?

O-084 学童期小児における顔認知反応-脳磁場記録を用いた解析

O-092 playing video games-ゲームの種類と前頭葉血流変化の比較-

O-093 ことばの弁別課題における正常成人と発達障害児のfMRI賦活検討

O-104 小学1年生のひらがな習得を予想する就学前の認知能力

O-105 かな読字困難を呈する児の音韻操作能力の検討

O-106 軽度発達障害児への教育的支援プログラムの検討-ワーキングメモリに着目して-

O-107 読字障害のある小学生の診断と支援の成果

O-108 読み困難児における眼球運動効率の検討

V-15 ADHDにおける読み障害合併の有無による音韻操作能力の検討

- P-014 胎児サリドマイド/バルプロ酸ナトリウム暴露による自閉症モデルラットにおける行動異常
- P-015 広汎性発達障害児におけるストレスの変化
- P-016 自閉症児におけるアンドロゲン受容体遺伝子のCAGリピート数と第2指と第4指の長さの比に関する検討
- P-017 アスペルガー障害児における発話と注視に関する検討
- P-018 自閉症幼児における家庭療育(HAC)プログラムの課題達成と言語発達
- P-019 自閉症児における乳幼児期の頭囲の成長について
- P-020 自閉性障害患児における7番染色体長腕自閉性障害候補遺伝子の検索
- P-021 高機能自閉性障害(アスペルガー障害)の学童に対する自己認識を高める働きかけ
- P-022 自閉症スペクトルを考慮した新生児期異常とセロトニン2A受容体遺伝子多型の検討
- P-023 ウイリアムズ症候群に合併した自閉症状の検討
- P-024 当クリニックにて長期間観察されている自閉症105例の臨床症状と予後についての検討 第2報
- P-025 非言語性学習障害/高機能広汎性発達障害の2女児例
- P-026 乳児における視聴覚刺激に対する眼球運動の発達の变化
- P-027 情動反応の発達の变化-交感神経皮膚反応による検討-
- P-099 強度行動障害の医学的背景と薬物治療に関する検討
- P-101 小児におけるThe Boston Qualitative Scoring System for the Rey-Osterrieth Complex Figureの心理学的検討
- P-103 フルボキサミンの血中濃度と臨床効果の検討
- P-118 CSWS患児における前頭前野の成長に関する前方視敵検討-3-D MRIによる検討-
- P-144 極低出生体重児の視知覚発達の特性
- P-167 Landau-Kleffner症候群の1例における脳磁図所見
- P-168 表情認知の脳内情報処理過程:“チャーノフの顔”を用いた電気生理学的検討
- P-197 NECP2変異解析: Rett症候群の早期診断基準の作成の試み
- P-198 Rett症候群における血中グレリンの検討
- P-217 発達障害児における¹²³I-IMP SPECT検査の有用性
- P-270 注意欠陥多動性障害における脳波異常とmethylphenidate投与について
- P-271 AD/HD治療薬としてのミルナシブラン(セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害剤)の可能性
- P-272 AD/HDモデルラット(spontaneously hypertensive rats)の青斑核ニューロンに対するメチルフェニデートの作用
- P-273 皮肉・比喩文テスト(MSST)の標準化

2005.vol37 (1)

- P-274 学習障害児の書字過程の特徴—高選択性近赤外分光機能画像法によるブローカ野周辺領域の脳血流動態に関する検討
- P-275 高振幅・体性感覚誘発電位を呈した注意欠陥多動性障害児とバルプロ酸徐放剤
- P-276 ADHD Rating Scale-IV(DuPaul, 1998)の有用性に関する検討
- P-277 注意欠陥・多動性障害(ADHD)における脳波所見
- P-278 比喩・皮肉文理解の違いについて—ASとHFDとAD/HDの比較—
- P-279 注意欠陥多動性障害の衝動性モデルに関する検討
- P-280 視空間操作が困難な読字障害の一例
- P-281 標準化読書力検査を用いた特異的読字障害の診断とその臨床的特徴
- P-293 姫路市における幼児期の発達障害児への多機関が連携した取り組み
- 注意欠陥/多動性障害児における衝動性眼球運動に関する検討
- 高機能広汎性発達障害の併存症状に関する検討
- MECP2遺伝子異常を伴うRett症候群の臨床症状について